

第四回 ODE 若手セミナー

日時：2017年12月6日(水) 14:00 – 12月7日(木) 12:20

場所：大阪府立大学 I-site なんば A1-A2 ルーム

住所：大阪市浪速区敷津東 2-1-41 南海なんば第1ビル2階

大阪市営地下鉄「なんば駅」・南海電鉄「なんば駅」下車徒歩15分、

大阪市営地下鉄「大国町」下車徒歩7分

<http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/about/map/>

世話人：田中敏 (岡山理科大学), 鬼塚政一 (岡山理科大学), 松永秀章 (大阪府立大)

12月6日(水)

14:00–14:35 藤本皓大 (大阪府立大・工・学振PD)

$p(t)$ -Laplacian を持つ Euler 型常微分方程式に対する振動定数について

14:35–15:00 長岡陽介 (大阪府立大・工・M1)

時間遅れをもつオイラー型微分方程式の解の振動性

15:10–15:35 兼光孝直 (岡山理科大・理・M2)

2階線形微分方程式の振動解のフラクタル次元

15:35–15:55 板倉健太 (岡山理科大・理・B4)

3次元定数係数線形微分方程式系の解の公式

16:10–16:35 青木一央 (岐阜大・工・M2)

線型方程式の求積可能性に関する山本先生の定理について

16:35–17:00 野田雄斗 (岐阜大・工・M2)

ある差分方程式の解の漸近挙動

17:10–17:30 谷本陽輝 (岡山理科大・理・B4)*, 鬼塚政一 (岡山理科大・理)

2次元定数係数線形差分方程式系の原点の幾何学的分類

18:15– 懇親会

12月7日(木)

10:00–10:20 福高龍馬 (岡山理科大・理・B4)*, 鬼塚政一 (岡山理科大・理)

時変係数をもつ1階非同次線形微分方程式の Hyers–Ulam 安定性

10:20–10:40 鬼塚政一 (岡山理科大・理), 眞鍋佳菜子 (岡山理科大・理・B4)*

1階同次線形差分方程式の刻み幅が Hyers–Ulam 安定性に与える影響

10:50–11:15 板倉大樹 (大阪府立大・工・M2)

自己随伴非線形微分方程式に対する境界値問題の解の存在

11:15–11:50 熊菜摘 (電気通信大・情報理工・M2)

癌浸潤モデルに現れる反応拡散移流方程式の進行波解の存在について

12:00–12:20 福田陸斗 (芝浦工業大・システム理工・B4)*, 竹内慎吾 (芝浦工業大・システム理工)

ヒット現象に現れるリッカチ型方程式の厳密解の導出

※講演時間は質疑応答(5分)を含みます。*は講演者です。